

～礼儀と節度を考える～



# 平成武師道

## 〈人間活動学〉



平成武師道シンボルマーク

佐竹総長が自ら考案したマーク。四角は京都を表し、中心の黄色は己、四方はそれぞれの方角を守護しているといわれる幻獣を表す。黒が玄武（北）、赤が朱雀（南）青が青竜（東）、白が白虎（西）を意味する。そして、己（中心）から発する矢印は思考と行動を表し、京から地球、宇宙（円）に向かって日本の気づきの精神文化、平成武師道を発進していこうと願いを込めたマークである。

八月の猛暑の中、今回も社員研修で平成武師道特訓を行った。新人社員14名と付添い人1名の計15名を対象にした特訓だ。彼らはまだ20代ばかりで肉体的には絶好調のはずだが、やはり、現代っ子。数名は大学時代、クラブ活動で体を動かしていたせいも、弱音を吐かずついてくる者もいたが、ほとんどが前半のトレーニングでギブアップ。さてさてどうなるかと思っていたが、団結力とは面白いもの。最終的にはそれぞれの短所を互いに補ってカバーし、何とか終了できた。今回の一番の敵は“暑さ”。あらためて大自然の強さを身をもって知った気がする。何よりも、物のありがたみを知り、自然の恵みに感謝しなければならない。その自然を破壊している人間自身が一番、己を見ていない。いつか、地球が人間に罰を与える日が来るだろう。そうってからでは遅い。色々な意味で物のありがたみを肌で感じ、行動に出なければならないはずだ。平成武師道では考えているだけではなく、論じているだけではなく、行動に出ることによって、地球に感謝の意を表していきたいと思っている。それにしてもやはり“暑い”！

佐竹 雅昭